



Service Activation

この章では、Serviceability Service Activation ツールの概要とその使用手順について説明します。

この章の構成は、次のとおりです。

- [Service Activation の概要 \(P.5-2\)](#)
- [サービスのインストール \(P.5-5\)](#)
- [サービスの削除 \(P.5-6\)](#)
- [参考情報 \(P.5-6\)](#)

Service Activation の概要

Cisco CallManager Serviceability は、Web ベースの Service Activation ツールを提供しています。このツールは、複数のサービスをアクティブまたは非アクティブにするために使用し、デフォルト サービスを選択してアクティブにするために使用します。

Service Activation Web ページでサービスをアクティブまたは非アクティブにするには、サービス名の横にあるチェックボックスをオンにし、**Update** ボタンをクリックします。

Service Activation ツールは、自動モードでサービスをアクティブにします。また、単一サーバ設定に基づくサービスの依存関係も確認します。**Set Default** ボタンをクリックすると、Service Activation ツールは、単一サーバ設定に基づいて Cisco CallManager を実行するために必要なサービスを選択します。たとえば、あるサービスを選択すると、単一サーバ設定（存在する場合）に基づいて Cisco CallManager を実行する場合に、そのサービスに依存している他のすべてのサービスを選択するかどうかを確認するプロンプトが表示されます。複数サーバのクラスタ設定の場合は、『Cisco CallManager Serviceability アドミニストレーションガイド』の第 10 章「Service Activation」で、サービスの考慮事項を確認してください。



注意

必ず Service Activation ウィンドウからサービスをアクティブ / 非アクティブにしてください。Service Activation ページを使用せずに Windows Service Control Manager からサービスをアクティブ / 非アクティブにすると、データベーステーブルのエントリが追加または削除されないため、サービスが正しく設定されず、Cisco CallManager データベースとの同期が正常に行われません。



(注) Service Activation で Cisco CallManager および CTIManager サービスを非アクティブにした場合、サービスを非アクティブにした Cisco CallManager はデータベースから削除されます。つまり、Cisco CallManager はグラフィカルユーザインターフェイス (GUI) に表示されなくなるため、Cisco CallManager Administration の設定操作で Cisco CallManager を選択できません。

その後、同じ Cisco CallManager のサービスを再度アクティブにした場合、データベースは再び Cisco CallManager を作成し、サーバ名または IP アドレスに「CM_」というプレフィックスを追加します。たとえば、IP アドレスが 172.19.140.180 であるサーバで Cisco CallManager または CTIManager サービスを再度アクティブにすると、Cisco CallManager Administration に「CM_172.19.140.180」と表示されます。これで、Cisco CallManager Administration で、新しい「CM_」プレフィックスが追加された Cisco CallManager を選択できるようになります。



ヒント

Service Activation ウィンドウ内のリンクから、Control Center Web ページにアクセスできます。Control Center ツールを使用すると、一度に 1 つのサービスを開始および停止できます。Control Center の詳細については、[第 6 章「Control Center」](#)を参照してください。

図 5-1 は、特定のサーバに対するサービスのアクティベーション状況の例を示しています。

図 5-1 Service Activation を使用したサービスのアクティベーション状況

Service Activation [Control Center](#)

Servers
 DLS2-CM102-CM4 **Server: DLS2-CM102-CM4**
 Status: Ready

Update Set Default

Service Name	Activation Status
NT Service	
<input checked="" type="checkbox"/> Cisco CallManager	Activated
<input checked="" type="checkbox"/> Cisco Tftp	Activated
<input checked="" type="checkbox"/> Cisco Messaging Interface	Activated
<input checked="" type="checkbox"/> Cisco IP Voice Media Streaming App	Activated
<input checked="" type="checkbox"/> Cisco CTIManager	Activated
<input checked="" type="checkbox"/> Cisco Telephony Call Dispatcher	Activated
<input checked="" type="checkbox"/> Cisco MOH Audio Translator	Activated
<input checked="" type="checkbox"/> Cisco RIS Data Collector	Activated
<input checked="" type="checkbox"/> Cisco Database Layer Monitor	Activated
<input checked="" type="checkbox"/> Cisco CDR Insert	Activated
<input checked="" type="checkbox"/> Cisco CTL Provider	Activated
<input checked="" type="checkbox"/> Cisco Extended Functions	Activated
<input checked="" type="checkbox"/> Cisco Serviceability Reporter	Activated
Tomcat Web Service	
<input checked="" type="checkbox"/> Cisco WebDialer	Activated
<input checked="" type="checkbox"/> Cisco IP Manager Assistant	Activated
<input checked="" type="checkbox"/> Cisco Extension Mobility	Activated

106076

サービスのインストール

Cisco CallManager を初めてインストールするときは、Cisco CallManager を実行するために必要なすべてのサービスが、システムに自動的にインストールされません。ただし、インストールが完了するまでは、どのサービスもアクティブにはなりません（Cisco Database Layer Monitor サービスは除きます）。Cisco CallManager サービスなどのサービスは、Cisco CallManager Serviceability 内の Service Activation からアクティブにする必要があります。サービスは、アクティブにするだけでは開始されません。サービスは、Control Center から開始または停止できます。P.6-1 の「Control Center」を参照してください。



(注) Cisco CallManager をアップグレードする場合、システム上ですでに開始されていたサービスは、アップグレード後に開始されます。

サービス状況の表示

Control Center ツールを使用すると、クラスタ内の特定のサーバに対する Cisco CallManager サービスのアクティベーション状況を表示できます。Control Center は、NT サービスと、Cisco Tomcat Web サービスの Cisco IP Manager Assistant (IPMA) の両方のアクティベーション状況を表示します。

サービスの削除

サーバに対してサービスをアクティブにすると、システムにより、アクティブにされたサービスごとにデータベース エントリが作成されます。サーバが Cisco CallManager クラスタから永続的に削除されても、その特定のサーバですでにアクティブになっていたサービスのデータベース エントリは存在しているため、Cisco CallManager Serviceability および Administration ウィンドウにあるサーバのリストには引き続き表示されます。データベース エントリを永続的に削除するには、Delete Services ユーティリティを使用します。Service Activation Web ページに Delete Services ユーティリティへのリンクが表示される場合があります。ただし、それが表示されるのは、Cisco CallManager クラスタから永続的に削除されたサーバを選択した場合だけです。このユーティリティの使用の詳細については、『Cisco CallManager Serviceability アドミニストレーション ガイド』の「Service Activation」を参照してください。

参考情報

関連項目

- [第 3 章 「Cisco CallManager サービス」](#)
- [第 6 章 「Control Center」](#)
- 『Cisco CallManager Serviceability アドミニストレーション ガイド』の「Service Activation」

参考資料

- *Cisco CallManager* [トラブルシューティングガイド](#)